

アンニョンハセヨ！韓国語

科目責任者：小鳥遊 信 子（語学・人文教育部門）

I. 前 文

韓国語入門講座として韓国の文字「ハングル」の習得に重点をおき、ハングルの仕組み、発音、基礎文法について学習する。

II. 受入可能人数

人数は制限しない

III. 担当教員

小鳥遊 信 子（語学・人文教育部門）

IV. 学習内容

ハングルの仕組み、発音、基礎文法について学習する。学習者の時間、レベルに応じて丁寧に対応する。

V. 学修の到達目標

- ・ハングルの発音、読み書きができる
- ・基本文型を理解し、応用できる
- ・韓国語に興味を持ち、今後継続的に韓国語を学習するための基礎を築く
- ・ハングル検定試験にチャレンジできる

VI. 成績評価の方法・基準

自主学習レポート提出（50%）、口頭試験（一人20分）50%

VII. 使用する教材・資料など

- ・参考書：教養韓国語 初級 朝日出版社
- ・必要に応じてプリントを配布する。（ハングル検定試験問題集など）

VIII. 質問への対応方法

講義中、もしくは講義終了後に受け付ける

メールアドレス：y-nobuko@dokkyomed.ac.jp

IX. 求められる事前学習、事後学習及びそれに必要な時間

事前学習と事後学習：毎日10分間音読すること

X. コアカリ記号・番号

（医学教育モデル・コア・カリキュラム令和4年度改訂版）

学習目標

- GE-04-02-01 人の言動の意味をその人の人生史・生活史や社会関係の文脈の中において検討できる。
- LL-01：生涯学習 生涯学び続ける価値観を形成する。
- CM-01-01-01 言語的コミュニケーション技能を発揮して、良好な人間関係を築くことができる。
- CM-01-01-02 非言語的コミュニケーション（身だしなみ、視線、表情、ジェスチャー等）を意識できる。
- SO-06-01-03 個や集団に及ぼす文化・慣習による影響（コミュニケーションの在り方等）を理解している。

XI. 課題（試験やレポート）に対するフィードバックの方法

課題に対するフィードバック：講義中もしくは講義終了後に行う。

XII. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
医師としてのプロフェッショナリズム 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	○
能動的学修能力 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる	
地域医療の理解 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる	
国際性 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる	○
リサーチマインド 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる	

一
学
年